

外部スロープへの手摺配置

文書管理番号：1070-01

Q. 質問

外部のスロープに、勾配なりに手摺を配置したい。

A. 回答

外部のスロープに勾配なりに配置する手摺は、外構図で配置します。


外構図で敷地の面を分割して勾配をつけ、建具部品のフェンスから手摺を勾配なりに配置します。

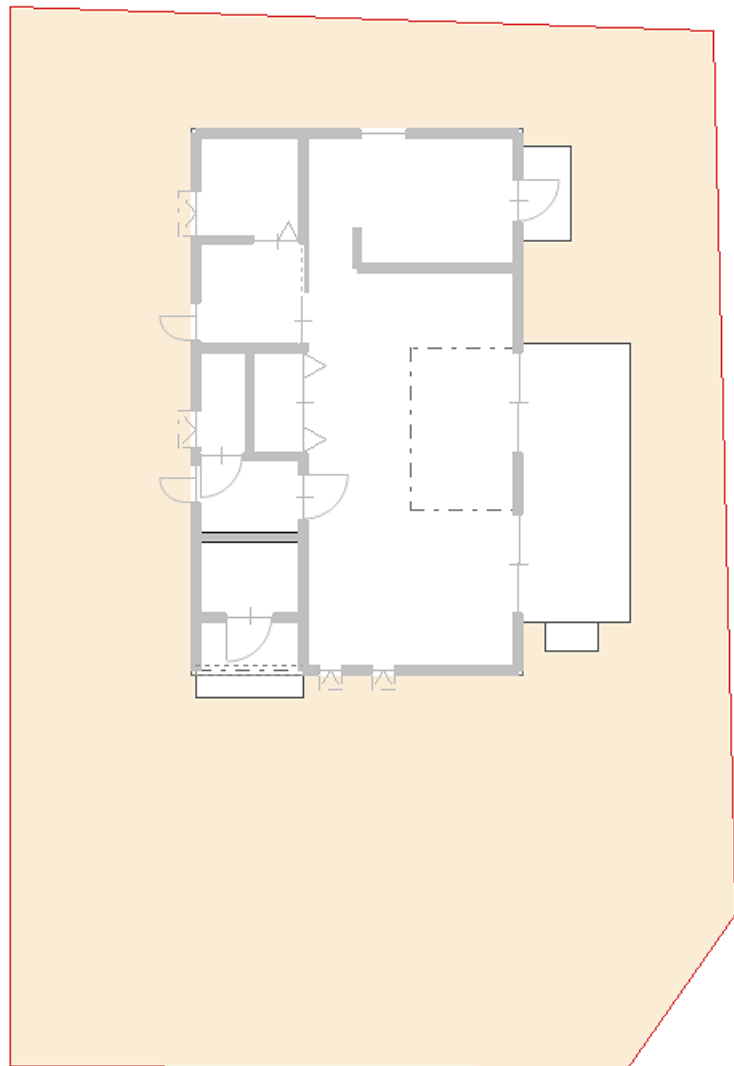
ここでは、下のように玄関ポーチ前にスロープを作成し、手摺を配置する手順を説明します。



操作手順

● 敷地の入力と面分割

- ①  (外構図)で、敷地を入力
 - * ここでは、右のような敷地を配置します。



- * 敷地の入力方法については、こちらをご覧ください。

[\[1021\]敷地の座標入力方法](#)


[\[1030\]三斜法を利用した敷地の作成](#)

ここでは、「[\[1021\]敷地の座標入力方法](#)」で入力した敷地を利用します。

- * 入力した敷地は、1辺が垂直になるように回転させ、建物配置で位置を調整しています。
- * 敷地の回転方法については、こちらをご覧ください。

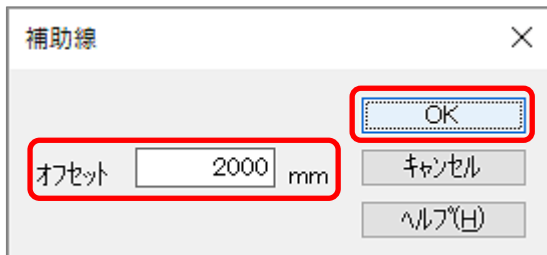
[\[1034\]敷地の向きの変更手順](#)

②  (配置補助)の  (補助線)をクリック

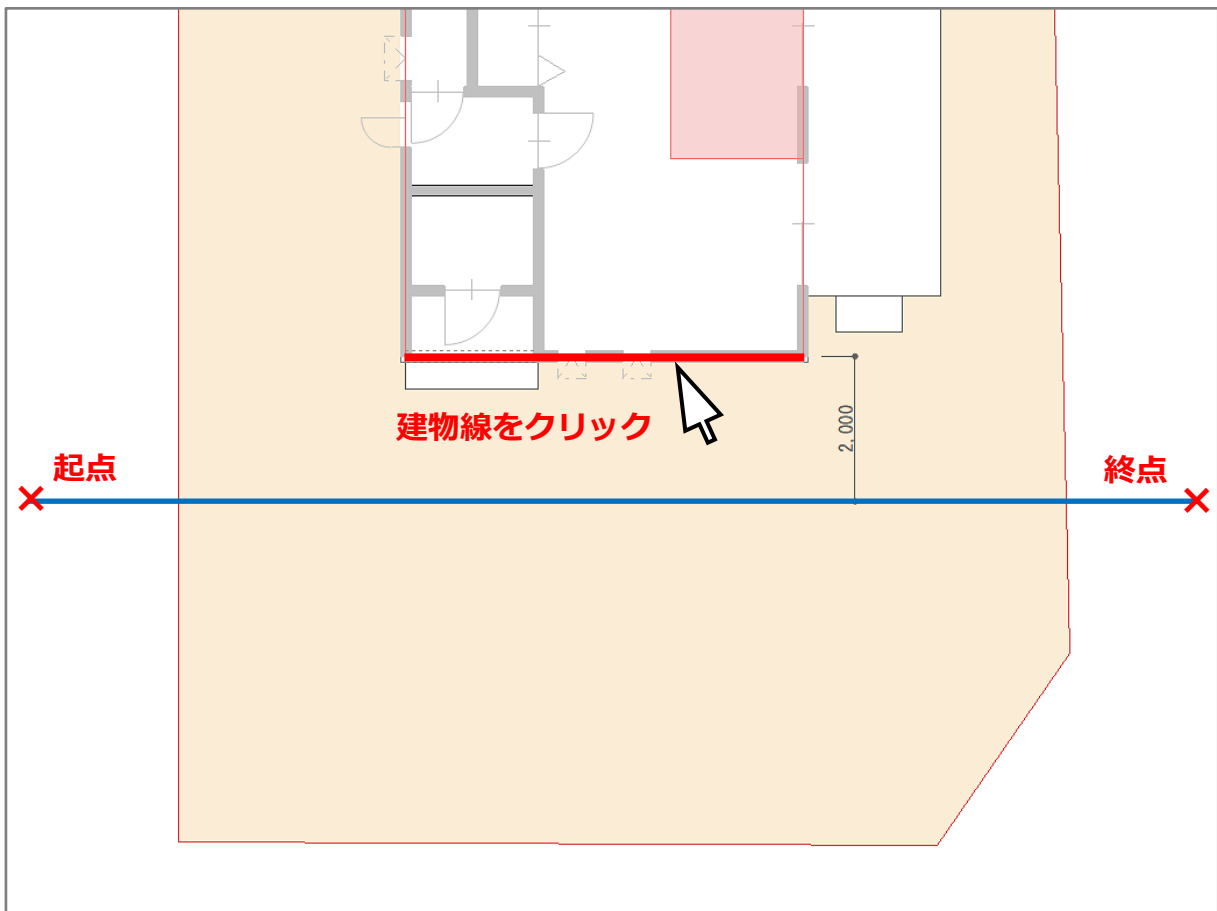
③  (オフセット配置)をクリック

- * 補助線のオフセット設定画面が表示されます。
- * 「作図モード」⇒「オフセット配置」を選択してもかまいません。


④ オフセット値「2000」mm と入力し、「OK」をクリック

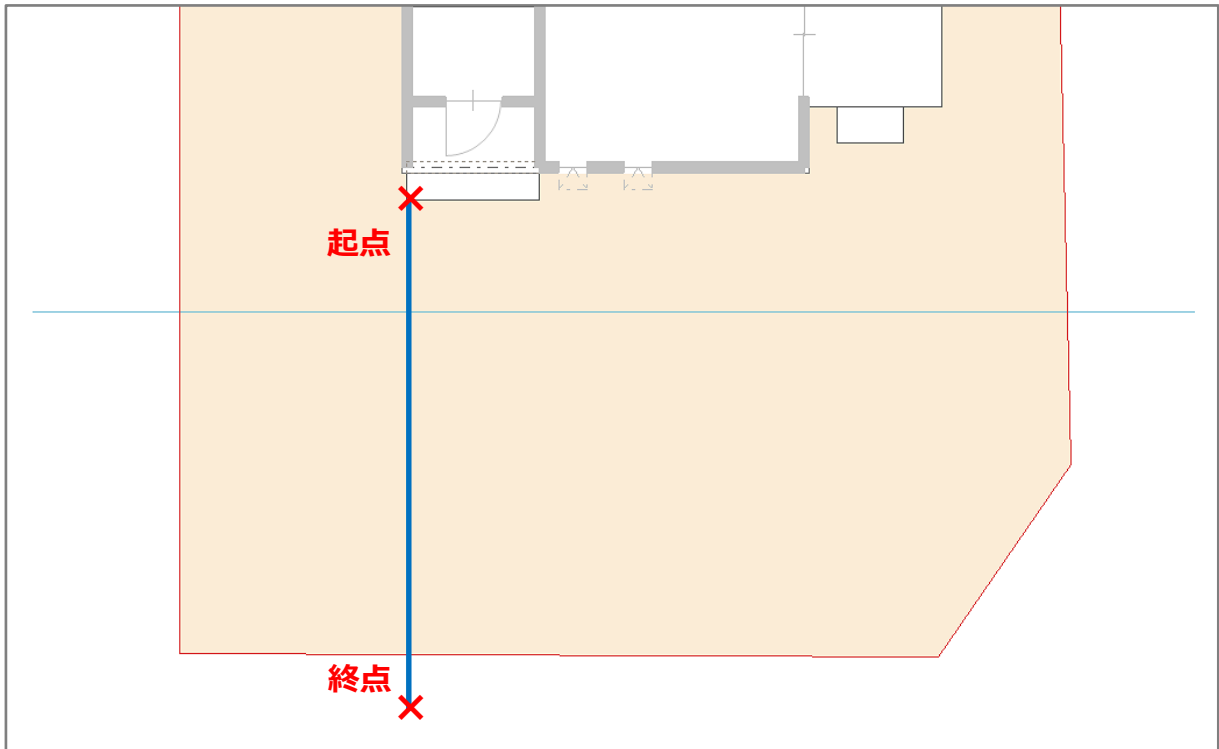


⑤ 基準となる南面の建物線をクリック後、左下方向で起点をクリックし、補助線の長さを決める終点をクリック

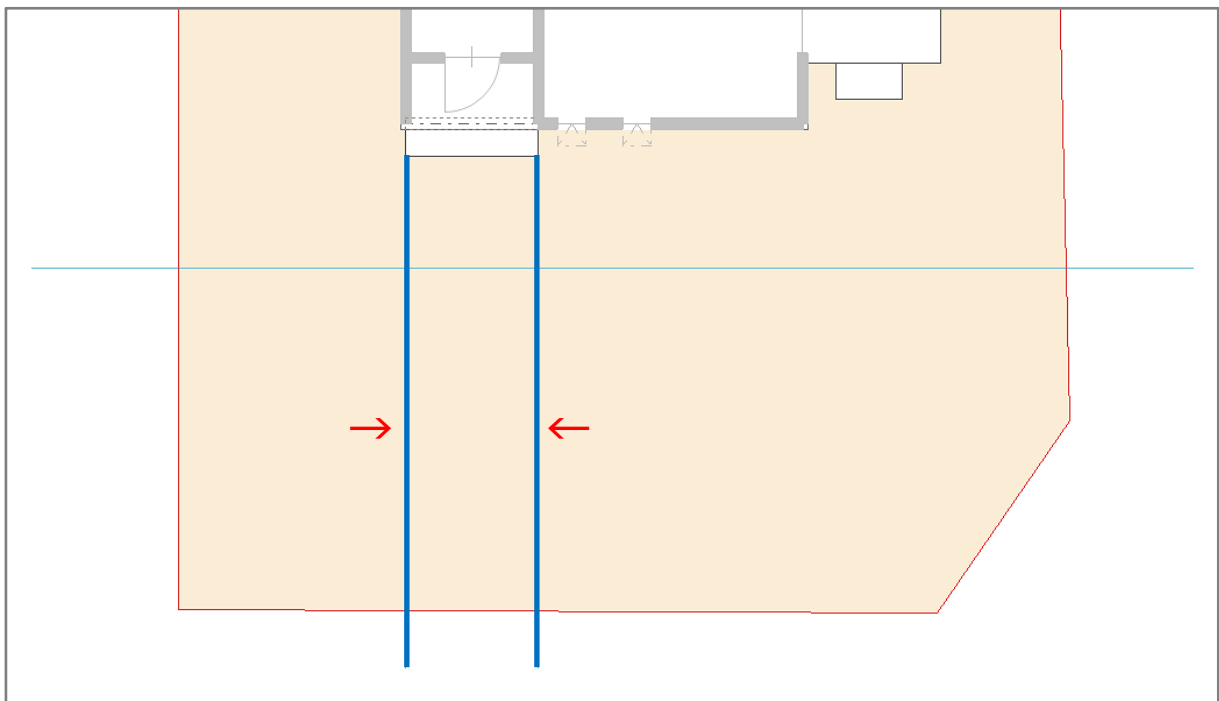





- * 南側の建物線から 2000mm オフセットした位置に、指示した長さの補助線が配置されます。

- ⑥ 「作図モード」から (連続配置)をクリック
- * 「作図モード」⇒「連続配置」を選択してもかまいません。
- ⑦ スロープポーチにしたい位置に、起点—終点で補助線を配置



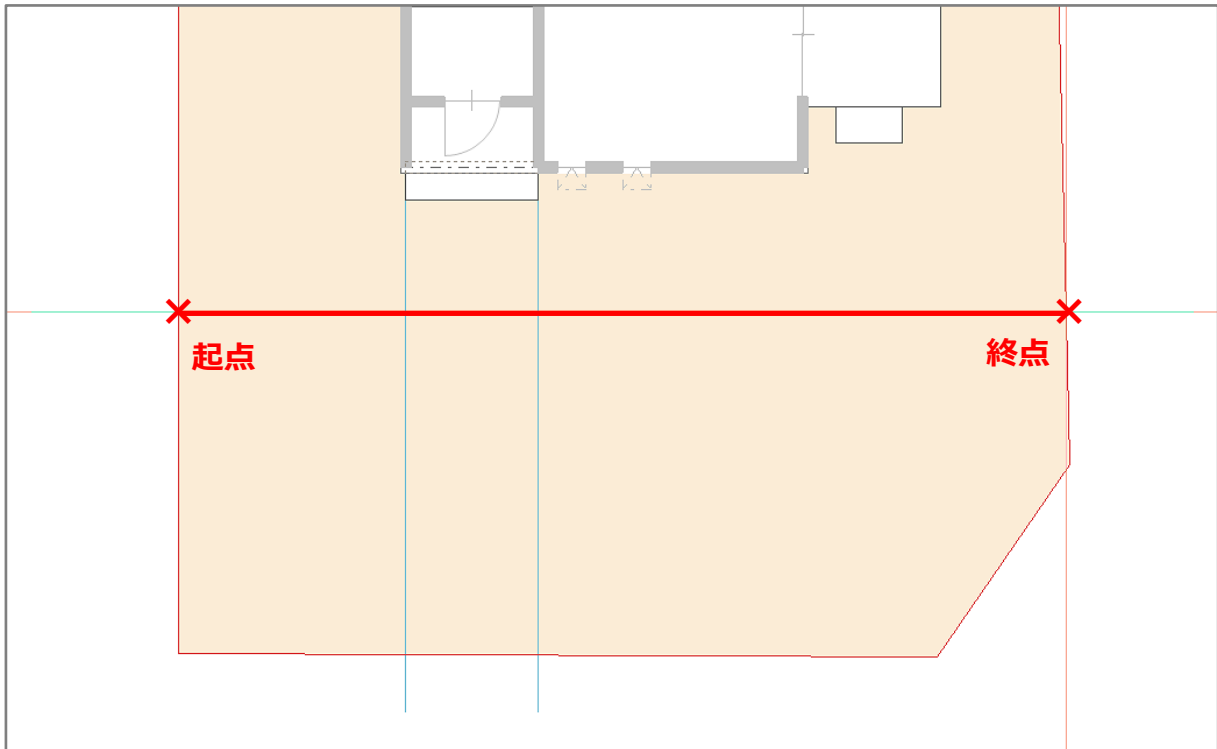
- * ここでは、玄関ポーチの出隅に起点をとり、下向きにキーボードの[Shift]キーを押しながら敷地境界線を越えた位置で終点をとり、補助線を入力しています。
- * 終点をクリック後、右クリックすると連続配置の入力が終了し、起点の指示に戻ります。
- * 2か所に入力し、スロープポーチの範囲を決めます。



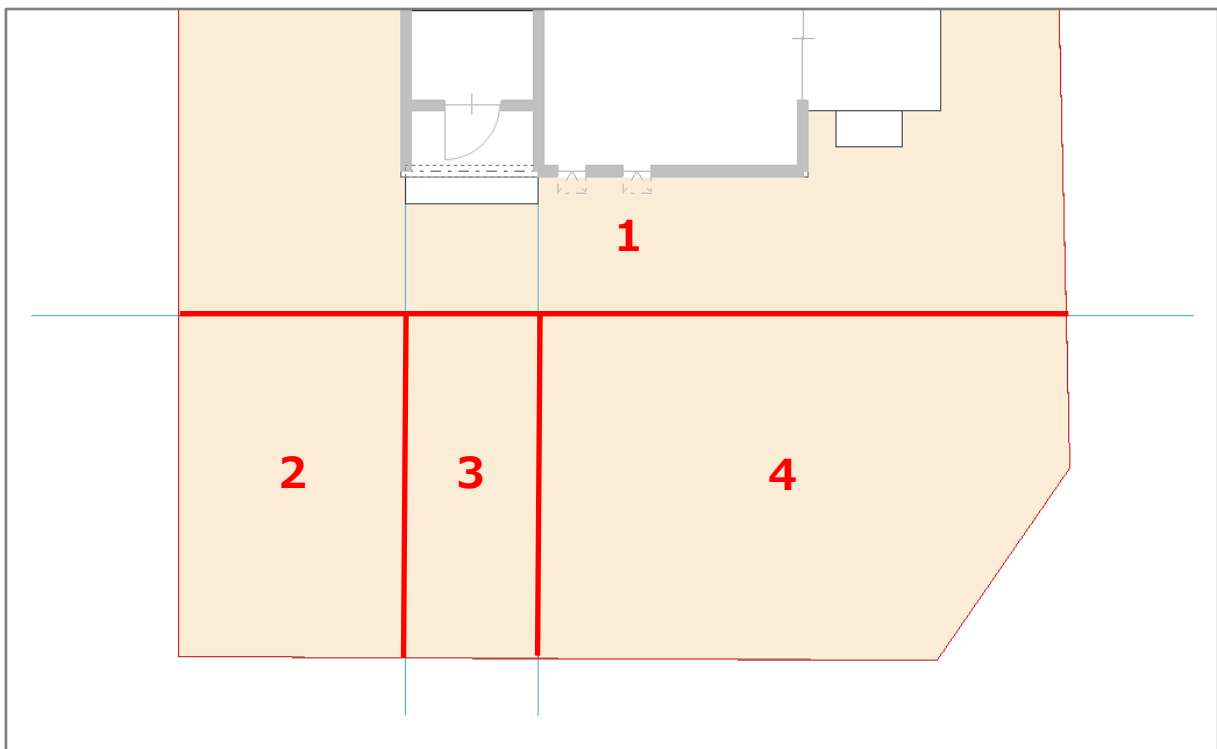
⑧  (面)の  (面分割)から、 (単線配置)をクリック

* 「面分割」をクリック後、「作図モード」⇒「連続配置」を選択してもかまいません。




⑨ 入力した補助線に沿って起点－終点を指示し、敷地面を分割



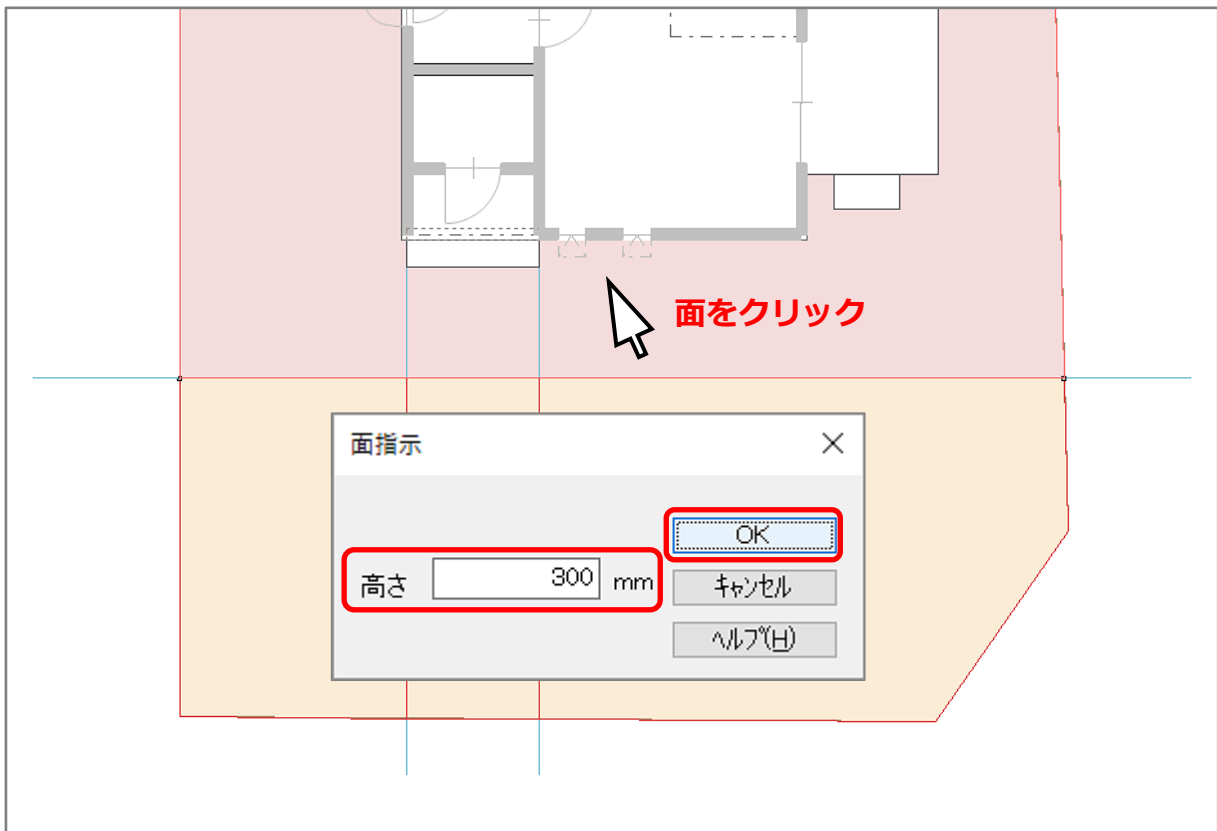
* 4つの面に分割します。



- 敷地面の高さ指示

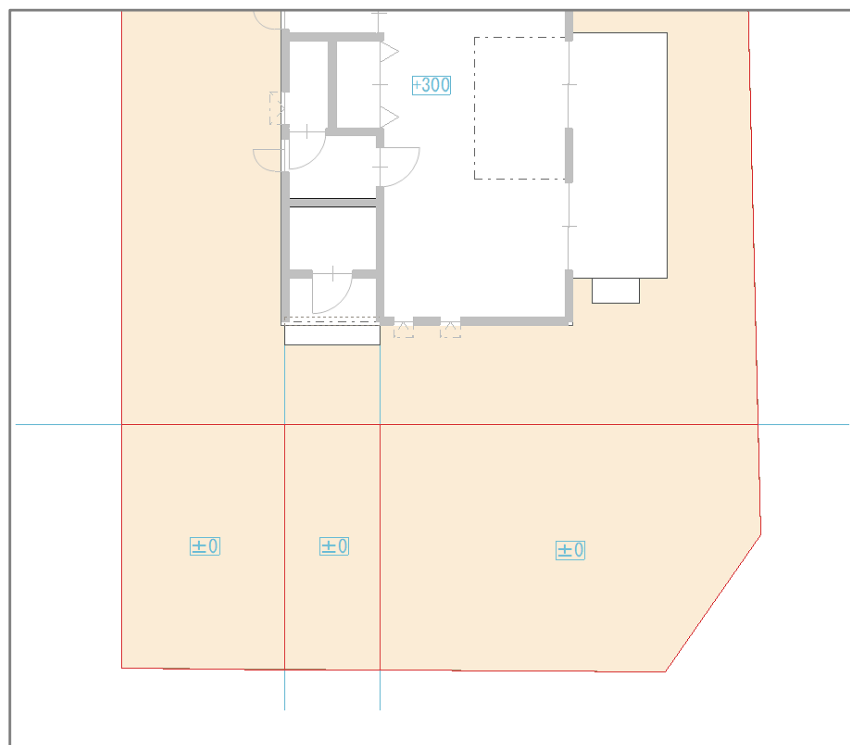
- ①  (面)の  (高さ指示)から、 (面指示)をクリックし、建物がのっている面をクリック

* 指示した面が赤く選択され、面指示の画面が表示されます。



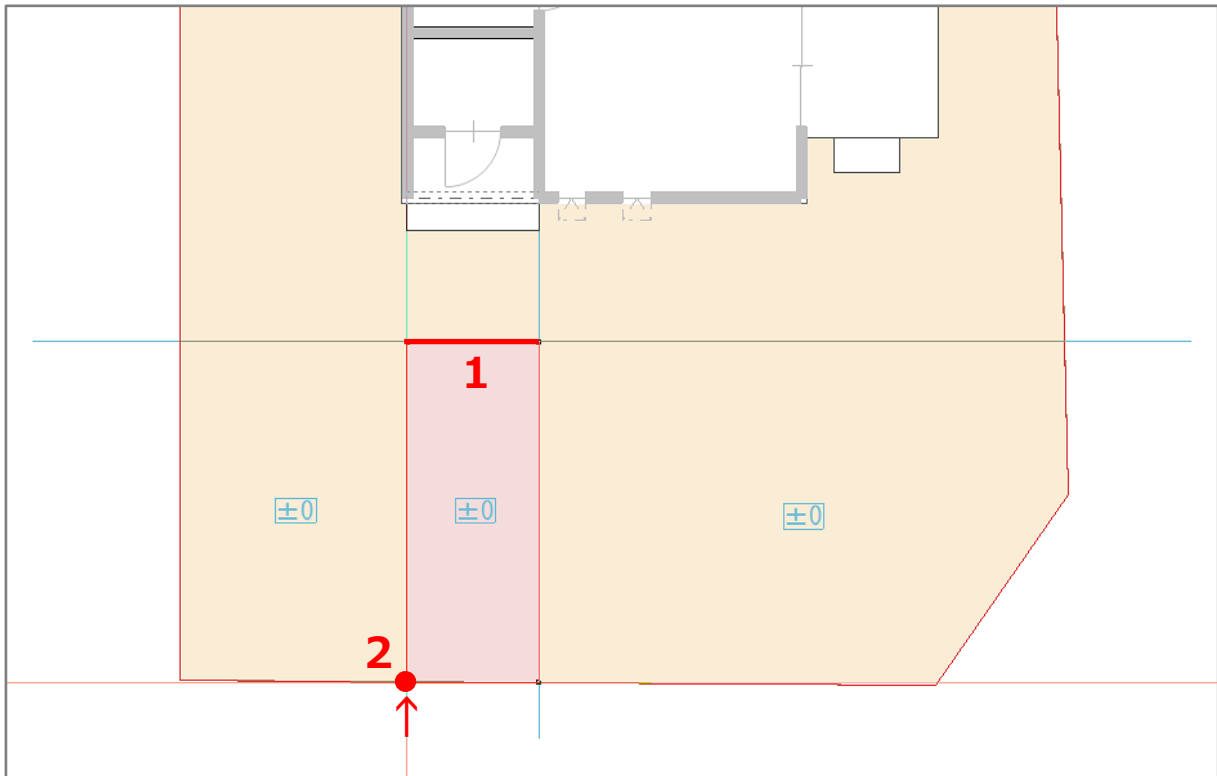
- ② 高さ「300」mm と入力し、
「OK」をクリック

* 指示した面は「+300」、
他の面は「±0」と表示
されます。



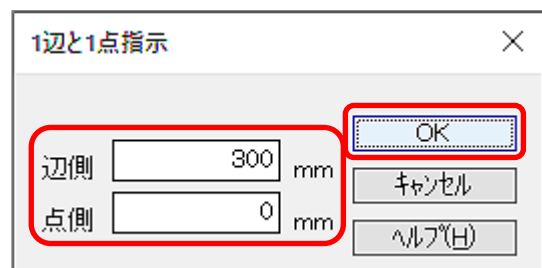
③ 「作図モード」から (1 辺と 1 点指示)に変更し、スロープポーチにしたい面をクリック

④ 勾配の高い方となるの辺 (図の 1) をクリック後、低い方となる辺の端点 (図の 2) でクリック

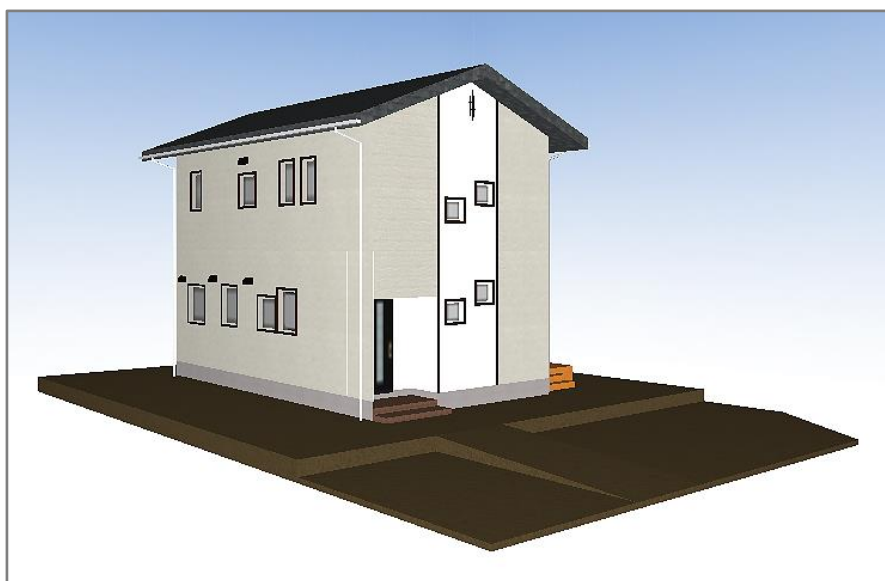


* 1 辺と 1 点指示の画面が表示されます。

⑤ 辺側 (最初にクリックした側) に「300」、点側 (2 点目にクリックした側) に「0」と入力し、「OK」をクリック



* 設定した面に勾配がつき、スロープになります。



<リアルタイム 3D ビューアでの表示>

● 手摺の配置

- ① (建具部品)の (フェンス)をクリック

* フェンスの設定画面が表示されます。

- ② 各項目を以下のように設定し、「OK」をクリック

名称：手摺

配置基準：配置面

ブロック幅：120mm

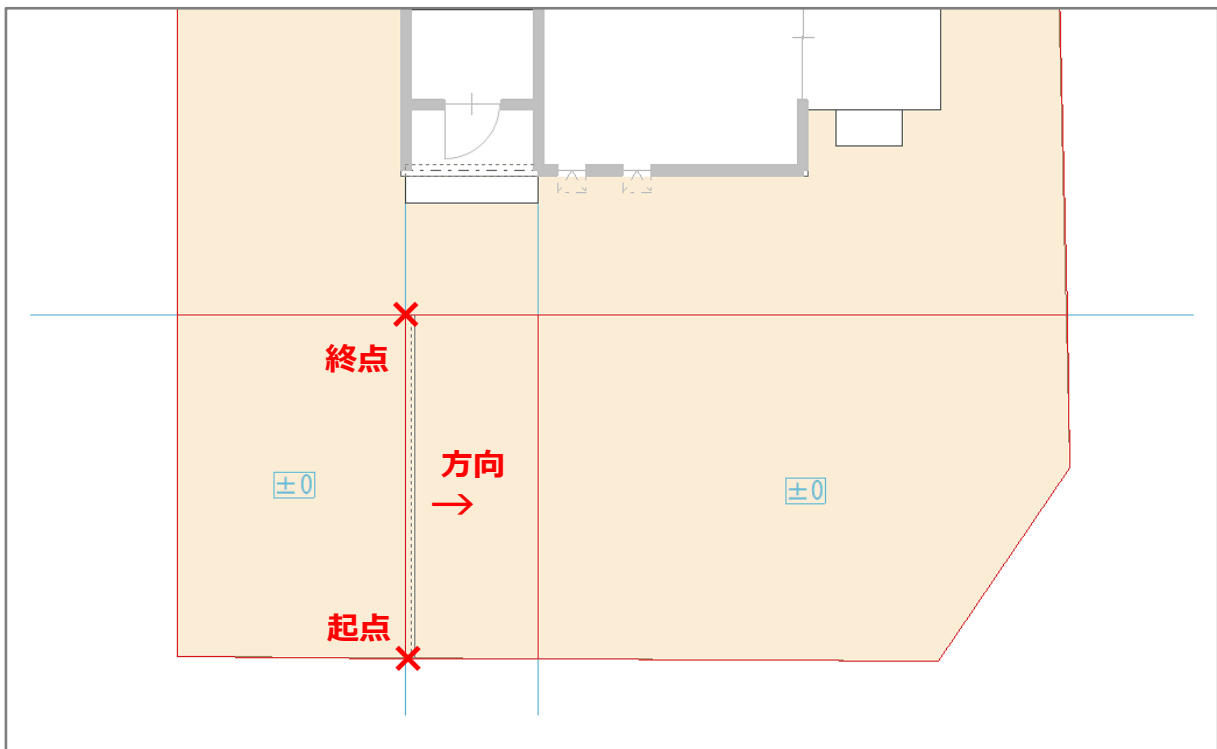
ブロック高さ：1mm

フェンス高さ：800mm

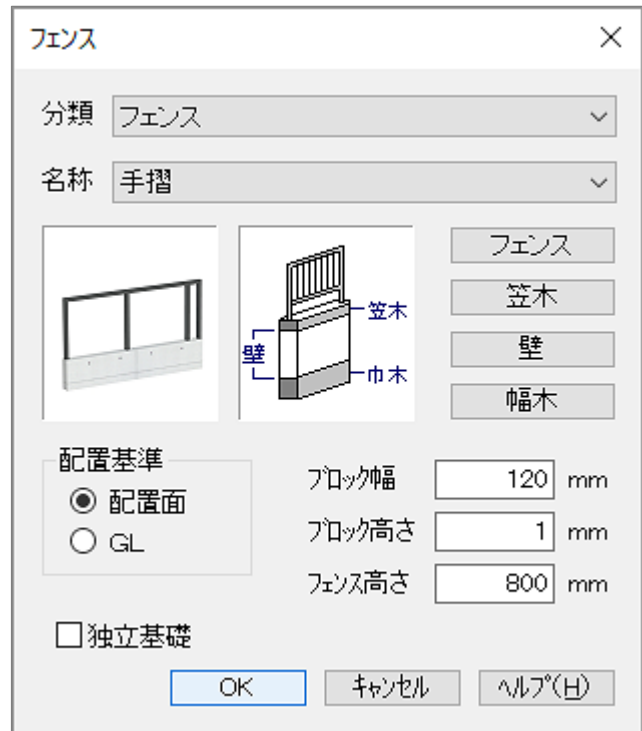
- ③ (勾配なり配置)をクリックし、 (塀面配置)で (単独配置)をクリック


* 「作図モード」から「勾配なり配置」、「塀面配置」、「単独配置」をそれぞれ選択してもかまいません。

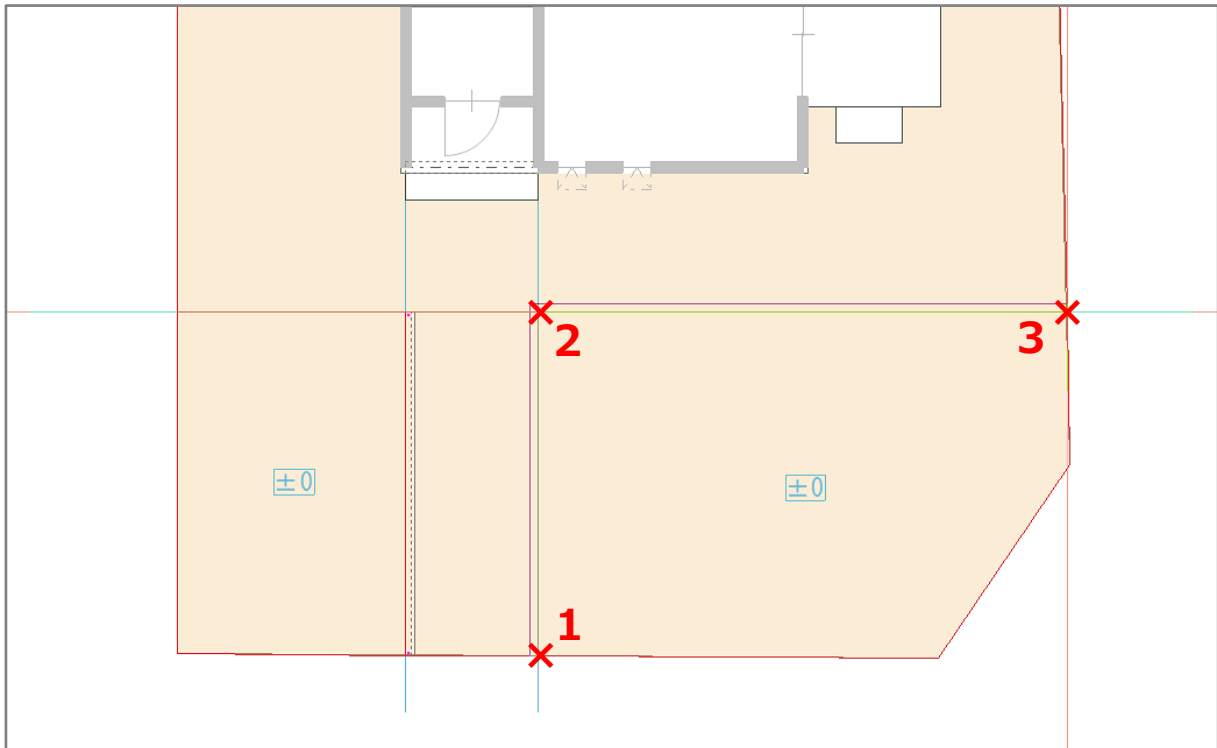
- ④ 手摺を配置する位置で、起点－終点－方向の順に指示



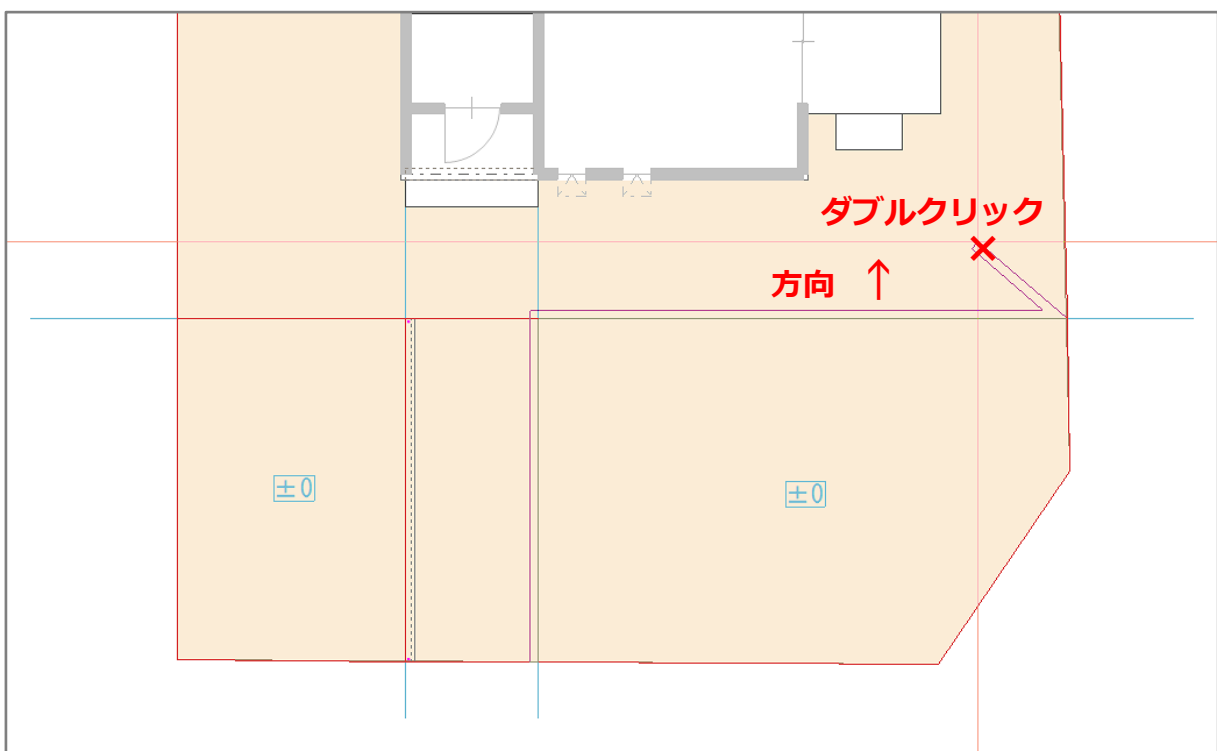
* 方向は、手摺がスロープポーチの面の中に納まるように指示します。



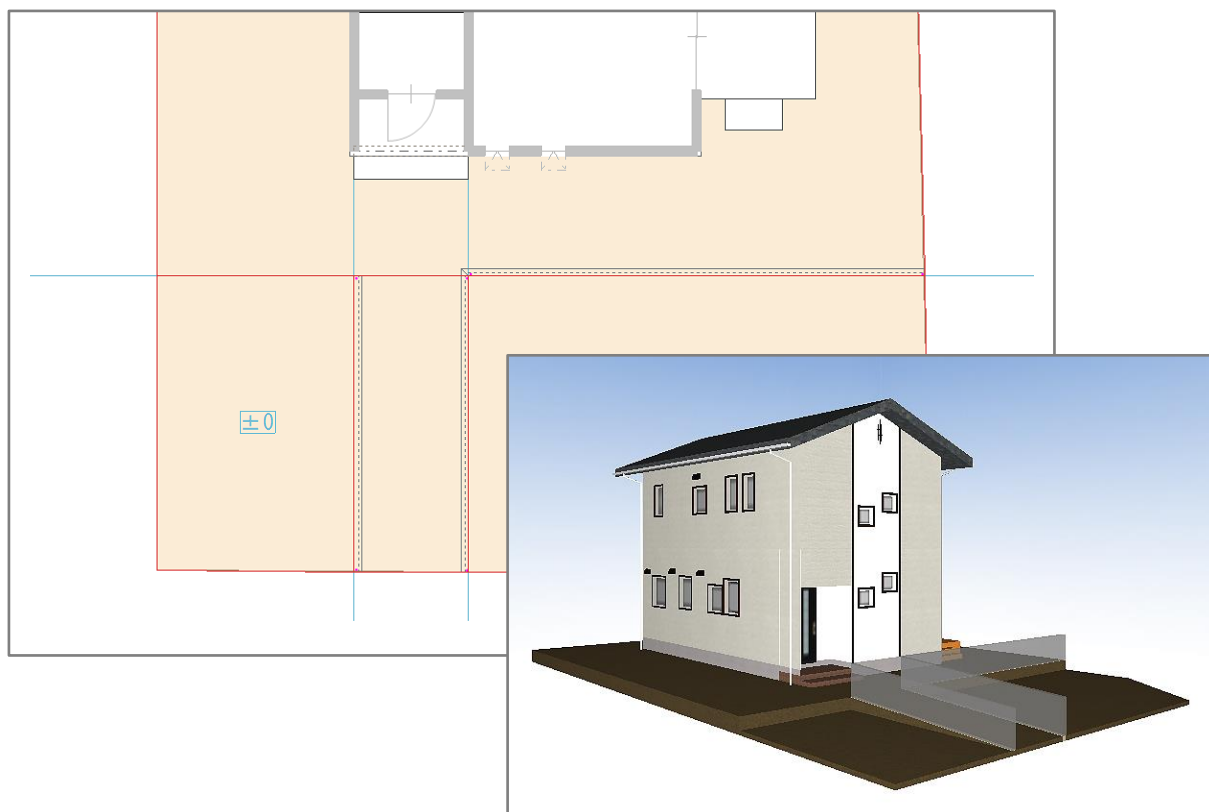
- ⑤ 「作図モード」から (連続配置)をクリックし、手摺を配置する位置を起点-中間点-終点と指示




- ⑥ 方向をダブルクリックで指示



* 終点を指示後、マウスで方向を合わせ、キーボードの[スペース]キーを押してもかまいません。



<リアルタイム 3D ビューアでの表示>

⑦  (3D パース)で確認



* 敷地の各面の色は変更しています。